

令和3年度 社会福祉連携促進セミナー 実施要項

1 趣 旨

高齢・障害・児童等の分野問わず、福祉現場における人材不足は喫緊の課題である中、各法人は採用・育成・定着のために様々な取組を実施している。

令和2年6月公布の「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」により創設された「社会福祉連携推進法人」制度が、令和4年4月1日に施行されることになった。

社会福祉連携推進法人が活動できる社会福祉連携推進業務の一つである「人材確保等業務」を効果的に実施することで、スケールメリットを生かした人材確保や離職防止等の各種課題に対応できることが期待されている。

本セミナーでは、社会福祉連携推進法人制度について制度創設の経緯や概要を「社会福祉連携推進法人の運営の在り方等に関する検討会」により、令和3年5月にとりまとめられた事項を踏まえて知るとともに、特に人材確保・育成・定着をきっかけとした先進的な法人連携の実践事例等から、連携の在り方や効果、また課題等について学ぶものとする。

2 主 催 社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ

3 共 催 富山県社会福祉法人経営者協議会

4 日 程 令和3年12月8日(水) 13時30分～17時00分

5 定 員 約60名

6 対 象 (1)社会福祉法人役職員等
(2)市町村社会福祉協議会役職員
(3)県・市町村行政職員

※ 東海北陸ブロックの県社協・県経営協を通じて各県に案内

7 会 場 パレブラン高志会館(2階 嘉月の間) (※会場収容定員 182名)
富山市千歳町1-3-1 TEL:076-441-2255

8 参加費 参加費 4,000円 (当日、会場にてお支払いください)

9 申込等 別紙申込書に必要事項を記入の上、令和3年11月17日(水)までに、FAX
または郵送にてお申込みください。

10 参加決定 令和3年11月30日(火)までに、参加決定通知を送付します。

11 その他 新型コロナウイルス感染拡大状況により、内容が変更・中止となる場合があります。

12 問合せ先 (福)富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ教務課 担当:越村
富山市安住町5-21 サンシップとやま2階 TEL:076-432-6513

(プログラム) ※ 13時より受付を開始します。

13:30 ~ 13:35 開会、オリエンテーション

13:35 ~ 14:05 講義 I (30分間)

「地域共生社会実現における法人・事業所の期待と役割」(仮)

講師：富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策

- ・ 社会福祉法人制度改革等の変遷と社会福祉法人の責務や現状

14:05 ~ 14:45 講義 II (40分間)

「社会福祉連携推進法人制度からみるこれからの連携・協働の在り方」

講師：全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員長 宮田 裕司 氏

- ・ 社会福祉連携推進法人制度の概要
- ・ 令和2年9月「社会福祉法人の事業展開に係るガイドライン」や令和3年5月にとりまとめられた「社会福祉連携推進法人の運営の在り方等に関する検討会」での内容
- ・ 連携・協働化の方法と連携により得られる効果、また課題

14:45 ~ 14:55 休憩 (10分間)

14:55 ~ 17:00 シンポジウム「地域共生社会実現のための協働の在り方について」

(15:00 ~ 15:40) 実践報告1 (40分間)

講師：社会福祉法人 リガーレ暮らしの架け橋(京都府)

理事長 山田 尋志 氏

※ 令和2年11月設置 社会福祉連携推進法人の
運営の在り方等に関する検討会 構成員

- ・ 8の社会福祉法人の連携による社会福祉法人グループ「リガーレ」の目的と経緯(2010年3月 3つの社会福祉法人による連携から実施)
- ・ 具体的な取組事項の現状と効果、課題
(人材確保共同事業、統一研修、給与労働条件の一元化、人事交流)

(15:40 ~ 16:20) 実践報告2 (40分間)

話題提供者：社会福祉法人 雲南ひまわり福祉会(島根県)

事務局長 田本 武士 氏 (オンライン登壇)

「社会福祉法人の連携こそ大いなる可能性

内なる目的は・・・ ～幸せになるための法人を創りましょう～」

- ・ 法人として取り組んでいる人材定着・育成プログラム
- ・ 雲南市内社会福祉法人 人材確保・定着・育成プロジェクト
- ・ 地域内の社会福祉法人が連携することのメリット・効果

平成31年3月、『正規スタッフ離職者0(ゼロ)』(令和3年8月現在 10年5ヶ月継続)や『PDCA サイクルの実践』などが評価され、第9回『日本でいちばん大切にしたい会社大賞』の『実行委員会特別賞』を受賞。

また、令和3年1月、第7回ホワイト企業大賞の特別賞『一期一会賞』を受賞。

(16:20 ~ 17:00) 意見交換 (40分間)

講師等への質問により、本制度の意義と連携の在り方を考える

コーディネーター：富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策